

# 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 定時制)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	5名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 ( 令 和 5 年 1 月 1 0 日 現 在 )		
	現 状 と 課 題	重 点 目 標	具 体 的 方 策	重 点 目 標 の 達 成 状 況	達 成 度	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育が目指す生徒像を定め、定時制総合学科としての特色を明確にする必要がある</li> <li>新型コロナウイルス感染症に対応した柔軟な計画と学びの継続を保障することが求められる</li> </ul>	<b>「キャリア教育・進路指導を核に進路実現を支援する総合学科を構築する」</b> ①総合学科の良さを発揮するシステムの構築 ②新型コロナウイルス感染症に臨機応変に対応した学校運営の計画を立てる	①プロジェクトチームが策定したキャリア教育プログラムを全ての教員が共有し確実に実行する ②臨時休業を想定しリモート授業も含め授業への影響を最小限にするための準備を進める	①プロジェクトチームが作成した総合学科の良さを発揮するシステムを構築し、実行中。進路の手引きは完成間近。 ②GIGA端末を活用した授業を行い、リモート授業がいつでも実施できる状態になった。教員研修もgoogleMeetを活用した。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員減に伴う校務分掌の再編成及び引継ぎをスムーズに行う。</li> <li>新時代に合った定時制総合学科の特色を明確にする。</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校で不登校生徒や外国籍生徒が多く、学び直しの場としての機能を有している。キャリア教育を軸に一層充実させる</li> <li>日本語を母国語としない外国籍生徒に特別な指導を行っている</li> </ul>	<b>「新教育課程の実施を準備する」</b> ③進路決定者100%を目指す指導体制 ④日本語を母国語としない生徒をはじめ、一人一人の個性や能力に応じた支援の工夫をする	③新教育課程の円滑な実施及び観点別評価を的確に実行する ④外国籍生徒への特別な支援に加え学力上位者への支援の充実策を実施する	③丁寧な進路指導、面接指導を行った。就職内定者5名、進学先決定者12名、現在も12名活動中。(12月1日現在) ④観点別評価の研修会を、複数回実施した。 ④日本語指導の継続的な実施により支援ができています。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校生徒や外国籍の生徒の学び直しの場としての機能をキャリア教育を軸により一層充実させる。</li> <li>進路決定の過程で計画的な活動ができない生徒もいたため低学年からの一層の対策が必要である。</li> </ul>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝西中学校陽春分校(夜間中学)との連携強化や役割分担について一層の研究が必要である</li> <li>市立の定時制課程として学校の内容や情報発信が不十分である</li> </ul>	<b>「学校を核とした地域づくり」をめざす</b> ⑤夜間中学との具体的な連携を工夫する ⑥市民のニーズを把握的的確な情報発信をすることで選ばれる学校を目指す ・倍率1倍以上を確保する	⑤夜間中学との相互授業参観や合同で研究・研修を行う ⑥すべての教職員がホームページを更新できるスキルを身に付け、情報を発信する。学校説明会と見学の在り方を工夫する	⑤夜間中学から進路学習の依頼があり、12月実施で計画中である。 ⑥10月1日現在の進路希望状況は0.52倍であった。(昨年0.72倍)。学校説明会は約100人が参加した。 ホームページは平均すると週に1回以上の更新をおこなった。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝西中学校陽春分校(夜間中学)との連携強化を更に進める。</li> <li>ホームページの更新を頻繁に行い、定時制の良さを市民、中学生にアピールする。</li> </ul>
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内組織の中で研修をリードする組織の充実を図ることで組織的・計画的な研修システムを構築する必要がある</li> <li>定時制勤務であり教職員数も少ないことから研修の場の確保が難しい</li> </ul>	<b>「授業第一主義」</b> ⑦校内研修を活性化させ教職員の授業力向上を図る ⑧学校外の研修への参加を積極的に推奨する	⑦教職員の相互授業参観による研修を実施する ⑧全日制の研修と連動した研修を実施する ⑧未来を拓く学びプロジェクトに複数教科が参加するよう働きかける	⑦教頭が作成した「授業観察のまどめ」を基に授業担当者がそれぞれ授業改善を行い、ICTを活用した授業が増加した。 ⑧未来を拓く学びプロジェクトへの参加者はなかった。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でもICTを活用した授業ができるよう校内支援体制を充実させる。</li> <li>外部への研修会に積極的に参加させる。</li> </ul>
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な学校づくりと施設の有効活用について全日制や附属中学校と連携して推進する</li> <li>GIGAスクール端末やネットワーク環境など最新鋭のICT施設を授業に効果的に活用する必要がある</li> </ul>	<b>「施設設備の効果的活用と安全配慮」</b> ⑨本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑩GIGAスクール端末やネットワーク環境をはじめ最新鋭の施設・設備を生かした教育活動を展開する	⑨自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策、校内の安全確保と安全点検を行う ⑩ICTの有効活用に向けた教職員のリテラシー向上を図る	⑨生徒指導部が中心となり、未然防止に努めた。重篤な生徒事故は発生していない。 水害に特化した防災教育を行った。 ⑩GIGA端末を活用した授業が複数科目で行った。GIGA端末のメンテナンスを頻繁に行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策も含めた安心・安全な学校づくりを推進していく。</li> <li>附属中学校や全日制課程、事務局との連携を深め、施設利用の在り方を研究する。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和5年2月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学科の良さを発揮するシステムを実行中とのこと、成果が楽しみである。</li> <li>教員が減っている中、引継ぎをスムーズに行ってほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導、キャリア教育を中心として、多くの生徒の進路実現ができたことは、すばらしい。</li> <li>不登校生徒や外国籍の生徒の学び直しの場としての機能を一層充実して欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招いての講演会など多く取り組んでいただきました。どの取り組みも生徒が理解しやすく、心に響くものだったと思います。継続してほしい。</li> <li>芝西中学校陽春分校との連携を継続して欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>未来を拓く『学び』プロジェクトには、参加して欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策を含め、安心・安全な学校づくりを推進して欲しい。</li> </ul>	